

# バンド

日本人と聖書 第6回

## 3つのバンド

- 1873年「切支丹禁制の高札」撤去
- 時同じくして、横浜・札幌・熊本の三箇所、キリスト教を信じる人々のグループが誕生
- 後に「バンド」(団体・同志的結合)と呼ばれる



# 横浜バンド

- J. H. バラ宣教師の英語教室
- 1872年正月「初週(正月)祈禱会」を機に始まった祈禱会が「**日本基督公会**」として結実
- 公会設立からわずか1年で26名が受洗
- 1877年、米国長老派系の日本長老教会、改革派系の日本基督公会、スコットランド長老派ミッションの3教会が合同して「**日本基督一致教会**」を組織
  - 参加教会9、信徒数623人
- 同年、「**一致神学校**」(S. R. ブラウン)が新設され、邦人伝道者の養成が本格化



# 札幌農学校

- 1872年東京に設置された「開拓使仮学校」が75年に札幌に移設され翌年「札幌農学校」と改称
- W. S. クラークが教頭として招聘される
  - マサチューセッツ農科大学学長
- 聖書を土台に人格教育を施す(在任8ヶ月)
  - “Be Gentleman.”(紳士であれ)を校則に
  - ”Boys Be Ambitious!”(少年よ大志を抱け)と言  
い残して去った





# 札幌バンド

- クラークは日本を去る前、「**耶蘇を信ずる者の契約**」を作り、決心者の署名を求めたところ、第一期生全員16名が署名した
  - 大島正健(甲府中学校長)・佐藤昌介(北海道大学長)ら
- 第2期生:**内村鑑三**・**新渡戸稻造**・**広井勇**(土木工学)、**宮部金吾**(植物学)ら
  - 卒業生は日本の発展に大きな影響を与えた



# 熊本洋学校

- 1871年「熊本洋学校」を開校
  - 維新後の巻き返しを狙って設立
- L. L. ジェーンズを校長として招聘
  - 母校ウェストポイント陸軍士官学校の規律と英国のラグビー中学校の人格教育とを模範とした
- 英才教育
  - 10～15歳までの少年たち（後に少女も）
  - 全寮制・教科書から講義まで**全て英語**！
  - 在任5年。数学、地理、歴史、物理、化学、天文、地学、生理学などを**一人で教えた**



# 熊本バンド

- 3年目から週一回自宅で聖書を教える
  - 1年後には参加者が50名を越え、連夜の祈禱会と聖書研究会が催された
- 1876年、有志生徒35名が熊本市郊外の**花岡山**に登り、「**奉教趣意書**」を朗読し署名した
  - 宮川経輝・金森通倫・海老名弾正・横井時雄・徳富猪一郎(蘇峰)



奉教趣意書

余輩嘗于西教ヲ學ブニ暇ル悟テ所アリ爾後之ヲ讀ニ至ル或  
ニ欣戴措カス遂ニ此ノ教ヲ 皇國ニ布キ大ニ人民ノ蒙昧  
開ニト欲ス然リト臣モ西教ノ妙旨ヲ知ラズニ種并日說ニ浸  
潤スルノ徒ホク對ソラズ豈慨嘆ニ堪ズベキニ是時ニ當  
リ苟モ報國ノ志ヲ抱者ハ亘ノ息發興起ニ生命ヲ塵埃ニ  
此ニ以テ西教ノ公明正大ナルヲ辨明スベシ是レ吾輩ノ最モ力  
ヲ竭スベキ所ナリ故ニ同志ヲ花園山ニ會シ同心協力シテ  
以テ此ノ道ニ從事セシメテ盡ス

一 此ノ此ノ道ニ入ル者ハ互ニ兄弟ノ好ヲ結ビ百事相戒メ  
相規シ惡ヲ去リ善ヲ修リ以テ實行ノ美スベシ  
一 一度此ノ道ニ入リテ實行ノ美スル能ハサル者ハ是レ

上帝ヲ敬フナリ是レ心ヲ教クナリ如此ノ者ハ心ス  
上帝ニ趨キテ蒙リ

一方今 皇國ノ人民多ク西教ヲ拒ム故ニ我徒一人此ノ  
道ニ背ク者ハ衆ノ誹ヲ招クノミナラス其徒ノ志願ヲ  
シム速キアラシムルニ至ル勤メサルベキニ我欽マサルベ  
キニ蒙リ

千八百七十六年第一月三十日 明照誌ト十二



# 迫害と発展

- 花岡山事件は大きな波乱を呼ぶ
- 生徒たちは**迫害と弾圧の嵐**にさらされる
  - ある者は座敷牢に入れられ、ある者は改宗を迫られ、死の窮地に追い込まれた
- この事件を機に洋学校は廃校、ジェーンズはキリスト教を伝授した咎によって任期満了とともに**熊本追放**となる
- 生徒を京都の新島襄(**同志社**)に預ける



## マタイ13章31節

イエスは、別のたとえを持ち出して、彼らに言われた。「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」